

小沢川へ水落とした流末の水路



伊那谷遺産

第2部

⑧ 西天竜幹線水路 流末の階段工

伊那市



QRコード
から天上事
務所HPへ

晩秋には水路清掃のため
に止水して、泥吐きをする。
階段状になった堰と堰の間
には水がたまり、ワカサギ

岡谷市川岸の天竜川で取
水する西天竜幹線水路は、
約25き運んできた水を伊那
市の小沢川に落とす。その
流末は1961年に西天竜
発電所ができるまで、急斜
面に造られた階段状の水路
だった。

階段工は「小沢のそろば
ん滝」とも呼んだらしい。
水が止まって半世紀が過
ぎ、底には草木が根を張っ
ていた。

やウナギが自然に集まった。
堰の下の方に二つずつある
排水用の穴を棒で突いて泥
を吐き出させると、魚が面
白いようにとれたという。
「水が止まるのはいつも
夜中の3時とか4時。あの
ときはウナギの腹が月明か
りて光って見えるほどい

毎週火曜日掲載

た。後になって岡谷辺りで
いけすが壊れたらしいと聞
いて、そのせいだったのか
と納得した。近くに住む男
性(76)が子どもの頃の思い
出を懐かしそうに語った。
(文・倉田高志、絵・片
桐美登)